

昭和五十七年九月招集

第三回館山市議定会定例会會議錄

館山市議會

目次

○第一号（九月十三日）

開 会	六
議長の報告	六
議案の配付	六
会議録署名議員の指名	六
会期の決定	六
会議日程の決定	七
議案第三十九号ノ議案第四十八号、認定第一号ノ認定第七号	七
（提案理由の説明）	七
公共施設等調査特別委員会委員長報告	一一
採決	一二
延 会	一三
本日の会議に付した事件	一三
○第二号（九月十七日）	一三
開 議	一七
行政一般通告質問	一七
五十嵐 昇君の質問、当局の応答	一七
横溝 功君の質問、当局の応答	二六
神田 守隆君の質問、当局の応答	三五
石井 輝久君の質問、当局の応答	四六
石井 武敏君の質問、当局の応答	五七
散 会	六九
本日の会議に付した事件	六九

○第三号（九月二十日）

開 議	七四
議案第三十九号ノ議案第四十六号	七四
石井 武敏君の質問、当局の応答	七四
神田 守隆君の質問、当局の応答	八二
安西 益男君の質問、当局の応答	八六
委員会付託	八七
議案第四十七号、議案第四十八号	八七
石井 武敏君の質問、当局の応答	八八
神田 守隆君の質問、当局の応答	九四
委員会付託	一〇五
認定第一号ノ認定第七号	一〇五
石井 武敏君の質問、当局の応答	一〇五
石井 輝久君の質問、当局の応答	一七
神田 守隆君の質問、当局の応答	二五
決算審査特別委員会の設置、付託、委員の選任	三五
請願第四号	三五
説明	三六
委員会付託	三六
陳情第一号	三六
委員会付託	三六
延 会	三六
本日の会議に付した事件	三七
○第四号（九月二十九日）	三七
開 議	四二

議案第三十九号ノ議案第四十二号、議案第四十七号	一四二
總務委員会委員長報告	一四二
神田 守隆君の討論	一四五
採決	一四六
議案第四十三号	一四六
文教民生委員会委員長報告	一四六
同報告に対する石井輝久君の質疑	一四七
採決	一四七
議案第四十四号ノ議案第四十六号、議案第四十八号	一四八
建設經濟委員会委員長報告	一四八
採決	一四九
請願第四号、陳情第一号	一四九
總務委員会委員長報告	一四九
採決	一五〇
日程の追加・発議案第五号	一五〇
説明	一五一
委員会付託の省略	一五一
採決	一五一
日程の追加・発議案第六号	一五一
説明	一五二
委員会付託の省略	一五二
採決	一五二
認定第一号ノ認定第七号	一五三
決算審査特別委員会委員長報告	一五三
同報告に対する神田守隆君の質疑	一五六

神田 守隆君の討論	一五七
採決	一五八
議員定数調査特別委員会委員長報告	一五九
神田 守隆君の討論	一六〇
採決	一六〇
発議案第七号	一六〇
説明	一六一
神田 守隆君の質疑	一六一
委員会付託の省略	一六二
石井 武敏君の討論	一六三
松下正己君の討論	一六四
神田 守隆君の討論	一六四
栗原 一雄君の討論	一六四
藤田 益治君の討論	一六五
採決	一六六
日程の追加について	一六六
本日 of 會議に付した事件	一六七

第三回館山市議定会定例会會議錄（第一号）

昭和五十七年九月十三日(月曜日)午前十時

一、館山市役所議場

出席議員 二十六名

一番	神田 守隆	二番	石 井 謀
四番	横 溝 功	五番	福 原 勤
七番	古 賀 礼四郎	八番	石 井 昌 治
九番	松 下 正 己	一番	林 好 雄
一二番	栗 原 一 雄	一三番	近 藤 幸太郎
一四番	渡 辺 昭 夫	一五番	伊 藤 幸太郎
一七番	黒 川 平 治	一八番	流 山 源次郎
一九番	石 井 輝 久	二〇番	石 井 武 敏
二一番	吉 田 勇治郎	二二番	藤 田 益 治
二三番	菊 井 敏 博	二四番	和 田 一 郎
二五番	五十嵐 昇	二六番	伊 賀 多 朗
二七番	石 井 正	二八番	安 澤 徳 順
二九番	安 西 益 男	三〇番	山 口 康

出席説明員

市 長	半 澤 良 一	助 役	小 倉 澄 男
収入 役	太 田 博 雄	市長公室長	斎 藤 武 男
総務部長	鶴 岡 卓 樹	民生部長	鈴 木 力
経済部長	山 田 俊 康	水道課長	吉 田 清 一
教育委員長	古 宮 幸 八郎	教育委員長	安 田 豊 作
委員	官 澤 茂	事務局長	飯 田 忠 男
監査委員	鈴木 重 司	監査事務局長	飯 田 忠 男

農業委員会 斎 藤 明 農業委員長 庄 司 徹

出席事務局職員

事務局長 高 尾 豊 事務局長補佐 熊 谷 吉 雄
書 記 兵 藤 恭 一 書 記 鈴 木 哲
書 記 石 井 一 夫 書 記 嶋 田 範 夫

一、議事日程(第一号)

昭和五十七年九月十三日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名

日程第二 会期の決定

日程第三 会議日程の決定

議案第三十九号 工事請負契約の締結について

議案第四十号 工事請負契約の締結について

議案第四十一号 契約の変更について

議案第四十二号 千葉県市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

議案第四十三号 館山市学校安全共済掛金徴収条例の一部を改正する条例の制定について

議案第四十四号 館山市農道整備事業分担金徴収条例の制定について

議案第四十五号 館山市大神宮地区排水路整備事業分担金徴収条例の制定について

議案第四十六号 市道路線の認定について

議案第四十七号 昭和五十七年度館山市一般会計補正予算(第二号)

日程第四

議案第四十八号

昭和五十七年度館山市水道事業特別
会計補正予算(第一号)

認定 第一号

昭和五十六年度館山市一般会計歳入
歳出決算の認定について

認定 第二号

昭和五十六年度館山市国民健康保険
特別会計歳入歳出決算の認定につい
て

認定 第三号

昭和五十六年度館山市と畜場特別会
計歳入歳出決算の認定について

認定 第四号

昭和五十六年度館山市ユースホステ
ル特別会計歳入歳出決算の認定につ
いて

認定 第五号

昭和五十六年度館山市学童災害共済
事業特別会計歳入歳出決算の認定に
ついて

認定 第六号

昭和五十六年度館山市水道事業特別
会計収支決算の認定について

認定 第七号

昭和五十六年度館山市国民宿舍事業
特別会計収支決算の認定について

日程第五

公共施設等調査特別委員会委員長報告

開

会 午前十時四分開会

○議長(林 豊君) 本日の出席議員数二十五名、これより昭和五十七年第三回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長(林 豊君) 本定例会議案審議のため、地方自治法第二百十一條の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので御了承願います。

なお、監査委員より六月乃至八月実施の監査の結果及び衛生セクター建設費に係る継続事業費精算書が報告されております。それぞれお手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

○議長(林 豊君) ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたします。配付漏れはありませんか。――配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長(林 豊君) 日程第一、会議録署名議員の指名を行います。一八番議員流山源次郎君、一九番議員石井輝久君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長(林 豊君) 日程第二、会期の決定を行います。本定例会の会期につき、議会運営協議会の意見は本九月十三日から九月二十九日までの十七日間ということであります。

お諮りいたします。会期を十七日間と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。よって会期は九月十三日から九月二十九日までの十七日間と決定いたしました。

会議日程の決定

○議長(林 豊君) 日程第三、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付いたしました会議日程表は、本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりまして、その都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定いたしました。

議案の上程

○議長(林 豊君) 日程第四、議案第三十九号乃至議案第四十八号及び認定第一号乃至認定第七号を一括して議題とし、これより各議案の提案理由の説明を求めます。

提案理由の説明

(市長半澤良一君登壇)

○市長(半澤良一君) 本日、ここに第三回市議会定例会を招集いたしました。当面する諸案件について御審議をお願いすることといたしました。が、議員の皆さま方には御多忙のところ御出席いただきありがとうございます。

今回、提案いたします案件は、条例議案三件、一般議案五件、補正予算二件並びに認定七件であります。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第三十九号工事請負契約の締結についてであります。が、館山市コミュニティ施設建設工事のうち、建築工事に係る指名競争入札の結果、鹿島建設株式会社が四億七千五百万円をもって落札しましたので、同社と工事請負契約の締結をしようとするものであります。

工事内容といたしましては、公民館、北条地区学習等共用施設、保健センター及び勤労青少年ホームの四施設からなる複合施設で、鉄筋コンクリート造り地上三階地下一階、延べ面積三千六百四十六・一七平方メートルの本体工事で、昭和五十七、五十八年度の二年継続事業として、工期を昭和五十八年十月三十一日までとするものであります。

本施設は、社会教育推進のための中心的な施設でありまして、住民のための実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業活動を行う拠点となります。公民館、学習、休養及び集会の用に供するための施設であります。北条地区学習等共用施設、市民の健康づくりを推進するため、地域住民に密着した対人保健サービスを総合的に行う保健センター、また中小企業等に働く青少年の福祉の増進を図るために、憩いやスポーツ、レクリエーション、

文化教養等の健全な余暇活動の場を提供する施設としての勤労青少年ホームを包括した複合施設として、それぞれの目的達成と相互交流による効率的な利用により、広くコミュニティ環境の醸成と人間交流の場としての利用を図ってまいりたいと考えております。

次に、議案第四十号工事請負契約の締結についてありますが、館山市コミュニティ施設建設工事のうち、機械設備工事に係る指名競争入札の結果、東洋熱工業株式会社関東支店が二億三千万円をもって落札しましたので、同社と工事請負契約の締結をしようとするものであります。

工事内容としては、空調設備工事並びに給排水、衛生浄化槽、エレベーター等設備工事であります。工期は、建築工事と同じく昭和五十八年十月三十一日までとするものであります。

次に、議案第四十一号契約の変更についてありますが、現在建設工事中の館山市立博物館本館の玄関ドアが手動の設計となっておりませんが、今回、利用者、特に身体障害者対策として自動ドアに変更いたしたく、また同工事に係る契約の相手方であります株式会社青木建設東京支店専務取締役支店長古賀梶夫の役職名が変更になった旨の届け出がありましたので、契約の変更をしようとするものであります。

次に、議案第四十二号千葉県市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてありますが、これは共同設置団体であります柏市、佐倉市、習志野市、八千代市結核予防組合の名称が昭和五十七年四月一日付けをもちまして四市保健予防組合に変更されたことに伴いまして、千葉県市

町村公平委員会共同設置規約の一部を改正しようとするため、地方自治法第二百五十二条の七第二項の規定により、千葉県市町村総合事務組合長から協議があったものであります。

次に、議案第四十三号館山市学校安全共済掛金徴収条例の一部を改正する条例の制定についてありますが、日本学校健康会法が昭和五十七年六月二十二日公布され、その附則におきまして日本学校安全会法が廃止されましたので、これに伴う条文の整理を行うものであります。

なお、日本学校健康会法に基づきまして、新たに日本学校健康会が設立され、従来の日本学校安全会の一切の業務を承継いたしましたので、その取り扱い事務であります学校安全及び災害共済給付に関する業務の内容は従前と同様であります。

次に、議案第四十四号館山市農道整備事業分担金徴収条例の制定についてありますが、本条例は、県管轄場整備事業として実施した安房中央東部地区並びに安房中央西部地区内における幹線農道の舗装事業実施に伴う分担金徴収条例であります。

分担金の総額につきましては、各年度ごとに路線別事業費の総額から国または県の補助金の額を除いた額の範囲内で定めるものとするほか、受益者分担金の積算基礎及び徴収方法等について必要な事項を定めるものであります。

次に、議案第四十五号館山市大神宮地区排水路整備事業分担金徴収条例の制定についてありますが、本条例は、市内大神宮地区内の字中郷、西、川坂の各一部を受益区域とした排水路整備事業実施に伴う分担金徴収条例であります。

分担金の総額につきましては、事業費の総額から県の負担する

額を除いた額の範囲内で定めるものとするほか、受益者分担金の積算基礎及び徴収方法等について必要な事項を定めるものであります。

なお、この条例は、公布の日から施行されますが、昭和五十七年度で事業が完了の予定でありますので、昭和五十八年三月三十一日で失効するように規定してあります。

次に、議案第四十六号市道路線の認定についてであります。道路法第八条第二項の規定に基づき、湊堂ノ下線を市道として認定したいというものであります。

なお、延長は二百七十メートル、幅員は五メートルであります。次に、議案第四十七号昭和五十七年度館山市一般会計補正予算（第二号）であります。歳入歳出予算の補正といたしまして歳入歳出それぞれ二億四千九百一十一万四千円を追加し、総額九十六億六千五百四十五万二千円としようとするものであります。

歳出のうち、主なものとして、総務費では、五十六年度以前の税収入に係る還付金及び還付加算金で百四十六万九千円。

民生費では、社会福祉費で館山市福祉作業所運営委託料等で二百三十二万二千円、これは福祉作業所入所者の増による指導員の増員と排水路整備工事を行うものであります。

奨学基金繰出金として百万円、これは北条病院の角田正彦氏から寄附がございましたので、寄附者の御意志を尊重いたしまして基金への繰り出しを行うものであります。

児童福祉費におきましては、公立保育所の措置児童の増加等による臨時職員賃金三百七十一万五千円。

衛生費では、かねてから移転を迫られている館山市環境保全公

社の事務所及び車庫について市が建設し貸与することとし、清掃事務所建設費として九千五百二十七万六千円、旧藤原処理場消化槽清掃工事請負費として百五十五万四千円、これは衛生センターの完成に伴いまして旧藤原処理場の解体撤去をしなければなりませんので、前もってスカム除去の清掃工事を行うものであります。本年六月二十六日開催の市議会におきまして議決をいただきましたごみ最終処分場の環境影響評価と基本設計を行うための委託料九百二十万六千円。

館山市環境保全公社出捐金八千万円の減額、これは当初出捐金により館山市環境保全公社が事務所及び車庫を建設する予定でありましたが、市において建設することに計画を変更したことによるものであります。

清掃センター建設費のうち、当初五十八年度事業として計画いたしました取水施設工事につきまして、水量の確認をする必要がありますので、一年実施を早めるための工事費として千百万円。

農林水産業費では、農業費におきまして、いちご生産振興対策事業補助金二百六十八万九千円、自然休養村整備事業総合診断経費二百万円、県管は場整備地区内の農道整備委託料九千四百五十万円、これは今後三カ年をもって整備を行う計画の初年度分として四路線の舗装整備を行うものであります。このほか、九重南部は場整備事業調査計画委託料二百三十二万円と大神宮地区排水路整備事業の組み替えをお願いするものであります。

水産業費におきましては、流通等改善施設整備事業補助金の事業内容及び事業主体の変更による千七百九十五万二千円の減、漁村環境施設整備事業補助金百五十六万六千円、西岬漁協、波左間漁協

を事業主体として実施する築磯事業に対する増養殖場造成改良事業補助金として千七百九十二万円、西岬漁協に対する製氷、冷蔵貯水施設設置事業補助金三百五十万円、波左間漁業協同組合漁民宿舍建設事業補助金二千六百万円、伊戸、見物漁港の区域内について測量を実施する委託料として二百八十万円、坂田漁港物揚護岸補強工事請負費五百万円の減、これは事業の中止によるものであります。

土木費では、道路橋梁費におきまして道路台帳作成委託料の入札残として百三十万円の減、道路整備の推進を図るため改良、舗装工事請負費等で四千百八十万円。

河川費におきまして、地上物件に対する移転補償費百八十四万円。

消防費では、第一分団第一部堂の下消防団詰所建設経費として九百十四万三千円。

教育費では、教育総務費におきまして、小学校統合に伴う西岬地区通学用道路排水路整備工事請負費及び待避所用地購入費で五百七十三万五千円、社会教育費におきまして、整備計画の一環として実施する城山公園彫刻の径関係経費として四百五十万円、旧東小学校校舎を館山市公民館西岬分館として使用するための改修経費として三百三十六万五千円。

災害復旧費では、農業施設災害補修用材料費二百万円の追加をお願いするものであります。

以上、歳出の主なものについて御説明申し上げましたが、これらの財源としまして分担金及び負担金、国、県支出金、地方債の特定財源で二億千六百七十四万四千円、その他を繰越金等一般財源

をもって充当しようとするものであります。

なお、このほか清掃センター建設に係る継続費の補正、債務負担行為の追加、地方債の補正をお願いするものであります。

次に、議案第四十八号昭和五十七年度館山市水道事業特別会計補正予算（第一号）であります。今回の補正は資本的収入の予定額を三百万円追加し、総額一億九百四十二万六千円に、資本的支出の予定額を千四百五十五万五千円追加し、総額一億七千八百八十七万二千円にしようとするものであります。資本的支出の内容といたしましては、楠見並びに八幡地区と館山運動公園の三カ所分の配水管布設工事請負費でございます。

次に、認定第一号乃至第七号の諸案件は、いずれも昭和五十六年度館山市一般会計ほか六特別会計の歳入歳出決算の認定について地方自治法の規定に基づき、監査委員の意見を付して市議会の認定をお願いするものであります。

昭和五十六年度におけるわが国の経済は、対米貿易不均衡を機にして輸出にかげりが生じたこと、また国内においては、個人消費の盛り上がり欠け、企業の生産活動も停滞したため、景気の回復気配はみられないものとなりました。他方、深刻の度合いを強めつつある国家財政は財政再建を推進し、速やかな財政の対応力の回復を図るため公債依存体質からの脱却と、一般歳出経費の節減合理化がすめられ、昭和五十六年度当初における国の予算は歳入では公債の発行額が前年度当初予算より二兆円を圧縮、歳出では国家公務員総数の縮減、補助金等の廃止、減額合理化措置を行うことにより、一般会計における予算規模は対前年度伸び率九・九％と昭和三十四年度以来二十二年ぶりの低い伸び率を示し

ました。しかし、公債発行額は十二兆二千七百億円に及んでおります。

また、地方財政においても引き続き財源不足が予測されたことにより、交付税特別会計への資金運用部からの借り入れ、建設地方債の発行等所要の措置を講じて地方財政の運営に支障を生ずることのないよう配慮されましたが、国と同様に一層地方債への依存度が高まる状況となりました。

このような背景の中で、本市は、国の財源措置に呼応するとともに、前年度決算審査特別委員会及び予算審査特別委員会より御指導並びに要請をいただきました事項に十分留意いたしまして、「住みよい環境づくり」、「福祉社会づくり」、「教育、文化の環境づくり」、「産業の基盤づくり」の四項目を重要施策として、財政の健全性確保に努めると同時に、より厳しさが予測される後年度以降の地方財政の状況に配慮しながら住民福祉の向上に努めてまいりました。

この結果、昭和五十六年度の一般会計決算におきましては、実質収支で五億六千八百七万三千余円の黒字決算を遂げることができました。

また、特別会計におきましては、独立採算制を確保するため合理化を図りつつ、その運営にあたりました。

特に、国民健康保険会計におきましては、医療費の伸び率が当初見込みより低かったことによりまして、実質収支で六千六百四十七万六千余円の黒字決算となっております。

水道企業会計につきましては、第二次拡張事業の最終年度にあたり、この事業計画に基づき西岬地区への加圧施設並びに海上自

衛隊館山航空基地前より北条渚地区に至る間の配水管布設工事を実施いたしました。このほか作名ダム水質改善装置設置工事、配水管増設工事等を施工し、より安定した給水ができるよう施設の拡充に努めました。

その結果、収益的収支につきましては、単年度収支五千二百二十四万四千余円の黒字を生じ、前年度からの累積赤字八千二十七万余円と合わせて累積赤字は二千八百二十五万余円に減少いたしました。

国民宿舍企業会計につきましては、前年度に比較して宿泊等、利用者数の増加をみましたが、景気の低迷、余暇利用の多様化等の影響もありまして、営業収益の伸び悩みにより収益的収支につきましては、単年度収支二千二百二十二万二千余円の赤字を生じ、前年度からの累積赤字と合わせますと六千六百十六万九千余円の累積赤字となりました。

以上、昭和五十六年度の決算についてその概要を申し上げますが、個々の施策につきましては、決算に関する主要な施策の成果に関する報告及び歳入歳出決算事項別明細書等により御了承賜りたいと存じます。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げますが、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（林 豊君） 以上で提案理由の説明を終わります。

公共施設等調査特別委員会委員長報告

○議長（林 豊君） 日程第五、公共施設等調査特別委員会委員長報告を議題といたします。

本特別委員会は、昭和五十六年第四回市議会定例会において公共施設全般につき検討する必要上、設置されたものであります。

よって、これより公共施設等調査特別委員会における調査、検討の経過並びに結果につき委員長長の報告を求めます。

公共施設等調査特別委員会委員長吉田勇治郎君。御登壇願います。

(公共施設等調査特別委員会委員長吉田勇治郎君登壇)

○公共施設等調査特別委員会委員長(吉田勇治郎君) 昭和五十六年第四回市議会定例会におきまして設置されました公共施設等調査特別委員会における調査、検討の経過並びに結果について御報告いたします。

御承知のとおり、本特別委員会は市当局においてコミュニティ施設用地を取得し、諸施設の建設が計画され、特に社会教育施設整備計画の中で文化ホールの建設が努力目標として打ち出されたことに関連し、この際市議会といたしましても公共施設全般について抜本的に検討する必要があるとの観点に立ちまして本特別委員会が設置されたところであります。

本特別委員会は、この趣旨を体し、設置されて以来五回の委員会を開催し、本年三月定例会におきまして文書をもって中間報告を申し上げましたとおり、現有各施設における利用状況、管理運営状況、整備状況等につき市当局から種々説明を求め検討を行いました結果、おおむね設置の目的に沿って管理運営されていることを認めたところであります。

しかしながら、特に現有する公共施設中、市民センターの利用状況については、弓道場設置、照明、音響機器の整備、冷房設備

等毎年多額の市費を投じ整備を図っているところでありますが、年々利用件数に低下をきたしている現況であり、これが理由を問いましたところ、興業等につきましては採算が合わないとか、商工会館の建設等によって利用度が低下しているのではないかとのことであり、今後どのようにして利用度を高めていくかについても市当局の考えを質したのですが、了とする答弁は得られず、今後十分なる検討を加え、設置目的に沿い、市勢発展の中心母体としての機能を十分果たし得るよう強く要望いたしました。

このような市民センターの運営等検討の結果、文化ホールの建設は努力目標とはいえ時期尚早であり、市当局においては低成長下、時代の進展に伴う住民要望を踏まえ、厳しい財政運営の中でまず優先しなければならぬ事業の選択を誤ることのないよう特段の配慮を要望いたしました。

また、毎年、根幹事業実施計画が議会に提出されているところでありますが、本計画案の作成についても総合計画審議会の活用も合わせて要望いたしました。

以上、本特別委員会における調査、検討の経過及び結果につき御報告いたしました。委員長報告といたします。

○議長(林 豊君) 以上で委員長の報告を終わります。ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって質疑を終結いたします。

採 決

○議長(林 豊君) お諮りいたします。

ただいまの委員長報告を了承することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。よって委員長の報告を了承することに決しました。

この際、市当局に申し上げます。

ただいま委員長報告の中で指摘いたしました諸点につきまして、十分なる検討をなされますようお願いいたします。

延

会 午前十時三十五分延会

○議長(林 豊君) お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。よって本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明九月十四日から十六日まで議案調査のため休会、次会は九月十七日午前十時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

なお、この際申し上げます。各議案の質疑通告の締め切りは九月十八日正午まででありますので申し添えます。

○本日の会議に付した事件

一、会議録署名議員の指名

二、会期の決定

三、会議日程の決定

四、議案第三十九号乃至議案第四十八号、認定第一号乃至認定第七

号

一、公共施設等調査特別委員会委員長報告